

デジタル技術を駆使して
新しいビジネスが生まれる!

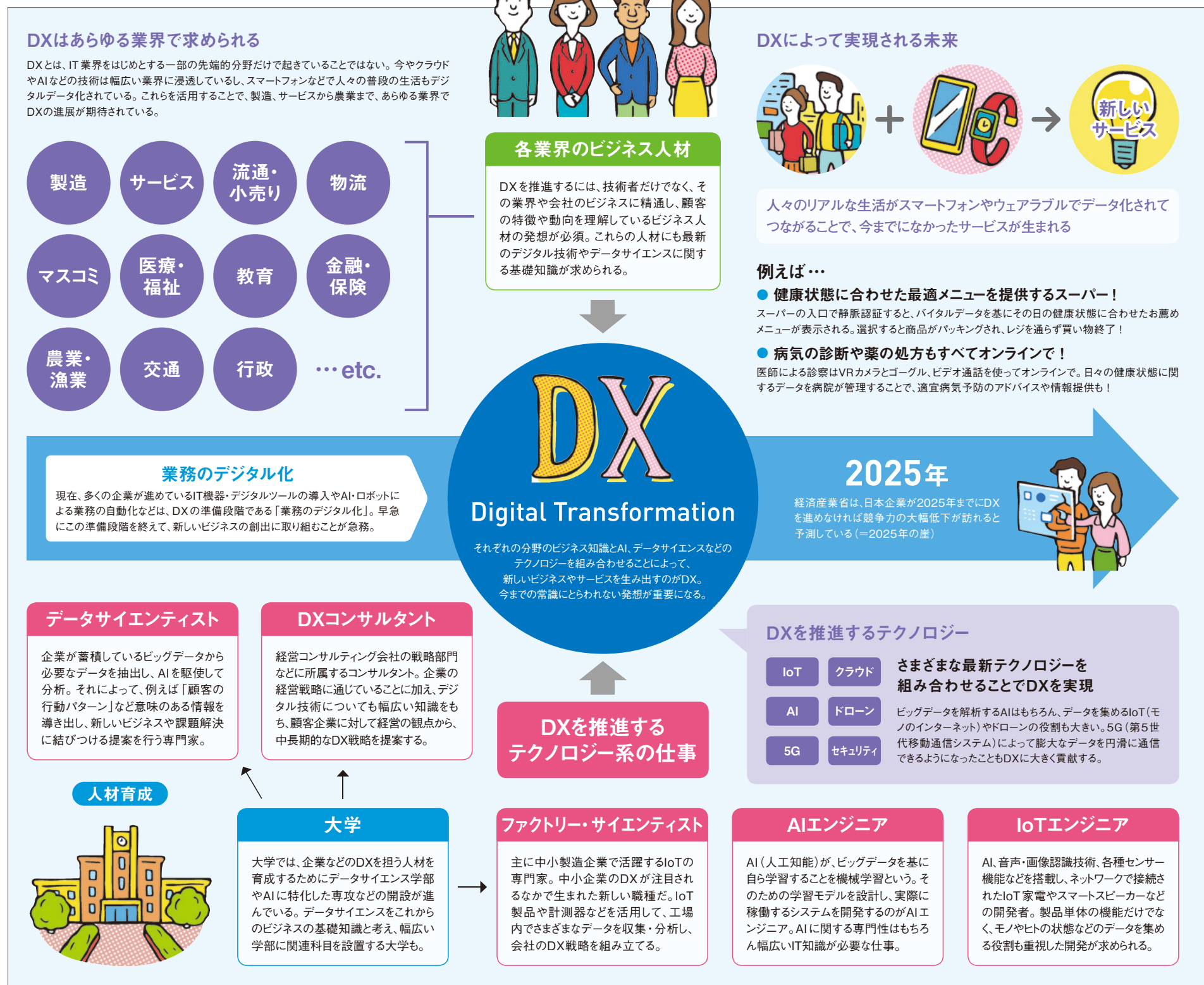
すべての業界で進む

DX
デジタル
トランス
フォーメーション

取材・文/伊藤敬太郎 イラスト/桔川 伸 撮影/干川 修(コラム)

今や企業にとってDXは待ったなし!
DX人材の育成も急務になっている

今、さまざまなデジタル技術の進化、デジタルツールの普及が進んでいるが、その次に訪れるのが、これらの技術を駆使してデータを活用することによって生まれるビジネスやサービスの大変革。それがDX(デジタルトランスフォーメーション)だ。今やあらゆる企業にとって必須と言われるDXの基本を解説しよう!



IT批評家
尾原和啓さん
Profile

おぼろ・かずひろ●フューチャリスト。京都大学大学院で人工知能を研究。マッキンゼー、Google、iモード、楽天執行役員、リクルートなどで事業立上げ・投資に携わってきたほか、経済産業省対外通商政策委員などを歴任。現在13職目。シンガポール・バリ島をベースに人・事業を紡ぐ。著書に『アフターデジタル』『ネットビジネス進化論』など。

DXって何?

DXは歴史的な大変革。今までの常識を覆す想像力を養おう

人々や社会に新しい価値をもたらすことがDXの本質

DXとは、紙やはんこを廃止してデジタルに移行することやAIやロボットを導入して業務を自動化することではありません。これらはあくまで「業務のデジタル化」であって、DXの前提条件。クラウドやデータサイエンス、AIなどのテクノロジーを駆使してさまざまなデータをつなぎ合わせ、今までにないビジネスやサービスを生み出すこそがDXの本質であり、その可能性は、今や無限に広がっています。

具体例で説明しましょう。保険は従来、病気やケガ、あるいは死亡したときにお金を払うというサービスでした。しかし、今や、1日の歩数など顧客の健康に関するデータはスマートフォンやウェアラブルデバイスによって日々リアルタイム

で集められますから、保険会社は顧客の健康増進のために最適な情報や医療サービスを提供できます。顧客接点が点から線になり、サービスの方向性が根本的に変わる。これによって顧客は健康になり、保険会社は払う保険料を下げられるのですから、お互いに大きなメリットがあります。

このようにDXが実現する社会進化は、顧客志向であり、社会志向。自分たちだけが儲かればいいというのではなく、新しいサービスによって人々や社会に新しい価値を生み出すことがDXの特徴です。このような変革がさまざまな業界で起きているのです。

残念ながら日本のDXは欧米だけでなく東南アジアにも遥かに遅れている状況。孫正義さんは「進化しない者は既に退化している。なぜなら周りがすべて進化しているから」と言っています。現状維持は退化だという認識が今

の日本には求められています。

技術が想像力を超えるこれからの時代には、技術を知ることでも大事ですが、何より必要なのは想像力を鍛えることです。そのためにぜひ科学の歴史を学んでください。天動説から地動説への大転換をはじめ、科学はそれまでの常識を覆すことで進化してきました。科学の歴史を学び、今までの常識をアンラーニング(学びほぐし)する思考を身につけることで本当の意味での想像力が養われます。SF作品に親しむこともお薦めです。例えば、映画『メッセージ』、小説『三体』などは、まったく異なる常識を前提としたとき世界がどう変わるのかを考えるには最適です。科学がアップデートすることで社会がアップデートし、一人ひとりの個性や生き方もアップデートされていく。DXがもたらすのは、そのような連続性をもつ大変革なのです。

